

# 平成29年度外務大臣表彰

平成29年7月6日

外 務 省



○ゾマホン D.C. ルフィン

特定非営利活動法人 I F E 国際財団理事

ゾマホン氏は、日本でのタレント活動や出版で得た収入をもとに、ベナン共和国コトヌ市に初級～中級レベルの日本語を無償で学習できる「たけし日本語学校」を2003年に開校。日本人の日本語講師を毎年受け入れ、約150名の現地の若者に日本語を教えている。また、2004年にはベナン共和国アジア・オセアニア関連大統領特別顧問に就任。2012年～2016年にかけては駐日ベナン共和国特命全権大使として活動するなど、日本とベナン共和国の友好関係の促進に多大な貢献をしている。

たかおか てるみ  
○高岡 照海

NPO法人日本陽光桜交流協会理事長

高岡氏は、世界各地の戦死者の供養のため、亡父とともに25年の歳月をかけ、厳しい気候でも開花する「陽光桜」を開発。1984年以降、「陽光桜」の寄贈と植樹を通じた各国との国際親善及び環境指導に貢献しており、2015年には秋篠宮同妃両殿下のご臨席の下、「さくら功労者」として表彰を受けた。その活動は、本年1月にミャンマーで開催された桜祭りでは、アウン・サン・スー・チー国家最高顧問が出席して植樹を行うなど、東南アジア諸国を始め毎年多数の「陽光桜」植樹活動を行っている。

たかぎ せいいちろう  
○高木 誠一郎

日本国際問題研究所研究顧問

高木氏は、日中関係に関する著作やシャングリラ・ダイアログをはじめとする国際会議における発信を通じ、国際社会における我が国のプレゼンス向上及び国際社会の理解促進に寄与してきた。また、研究活動を通じて、東アジア安全保障及び現代中国外交の専門家としての知見を我が国の政策企画・立案担当者に提供するとともに、国際安全保障学会会長として、我が国の安全保障研究の発展にも尽力している。

○ミノル・タカハシ

ブラジル日伯文化協会老人会会長

タカハシ氏は、移住したサンパウロ州グアララペス市において、同市日本人会役員として日系コミュニティー活動を行うと共に、同市市議会議員、副市長としての市政に尽力し日系人の地位を高めた。ブラジル移住後も、ブラジル連邦区体育娯楽協会会長として野球大会等の各種行事を主催し、それらを通じた日系コミュニティーの親睦強化と日本文化の継承を行ってきた。現在はブラジル日伯文化協会老人会会長として、日系社会の交流活性化に努めており、同人を慕ってブラジル各地からの来客も多い。